

日時 11月2～3～4日 大山(学びあい講座)
場所 大山(テント泊)
参加者 7名(広島3名・呉2名・やまぼうし2名)
円山祥子 上別祖邦子

○

県連女性担当の学びあい講座が4月から開かれました、女性を中心に登山に必要な知識や技術を身に付け、机上学習や山行を行い系統的に登山学習をし自分達で学びあっていく。目指す登山は船上山～大休峠～元谷でした。各会で担当を受け持ちみんなが一丸となって準備をし取り組みました。

11月2日広島15時出発、大佐SAでは大山環状道路は雪のため通行止めと張り紙がある、大山一帯は強い寒気が入り込み気象が気にかかる、雨の中テントを張った。3日雨の中を登山開始、みぞれ、雪、吹雪、雷に見舞われ雪道を甲が山の手前までいった、人を寄せ付けない風雪は厳しく、リーダーの判断で折り返し下山した。途中一人転倒捻挫の手当てをしてザックはリーダーが持ち、みんなでささえて下山した。緻密な計画、装備の軽量化、応急手当、すべて前準備したこと、「学びあい」の技量次第の山行でした。

(記 円山祥子)

○

終了山行の翌朝は8時まで眠ってしまった。早速泥のついた雨具、ずぶぬれの手袋、着用した山ほどの洗濯から始まる。余程足を踏ん張ったのか、身体の節々が痛い。たった1泊の山旅だったが、何日も家を空けた気がする。

11月2日 学びあい講座の終了山行で、船上山～元谷までの縦走に参加する。午後9時着いてすぐ、船上山登山口駐車場でテントをはった。真っ暗いテントの中で「4時40分よ」松岡さんの声にとび起きる。それからが戦争。ヘッドランプの灯りで 寝袋の片付け、ザックの整理、朝食をたべる、テントをたたむ...

、あわただしい時間が過ぎる。

6時10分まだ暗いうちに出発。あやしい空模様である。一行7名で歩き始める。ブナの原生林のやわらかい紅葉が、目をみはるほどである。しばらく歩くときびしい急登がつづく。時折小さな雨、風がびゅーびゅー吹く。船上山の三角点付近から風が強く冷たく、雨が次第にあられや雪に変わり、はく息も白く見える。降ったりやんだりの悪天候である。濃霧もひどい。あたりが雪景色となる。木々も綿帽子をかぶり、先日の初冠雪が残っているのか、12～3センチメートルは積もっているだろうか。風がゴーゴーとうなる。突風が吹く。視界が悪い。甲ヶ山の手前の岩場で、この先、歩行が危険との判断で、中止することになる。他のパーティも引き返し、この先の足跡が全くない。

帰途非難小屋で頂いたあったかい紅茶に、身体があたたまった。下りは粘土質ですべりやすく時間がかかり、往復8時間は歩いている。「このきびしい自然の条件の中での山行も、緊張感があり時には良い」との声が印象的であった。予定を1日繰り上げて、帰広することになり、夕方5時半には車を走らせ、夜12時に帰宅。

振りかえれば、春、女性だけの「学びあい講座」に「お互い先生になり生徒になって学び合おう」のキャッチフレーズにさそわれて参加する。約8ヶ月の集まりであった。呉の皆さんの天狗城山での読図の取り組みの勢い。広島山の会の広い見識と指導力に感服。内容は安全な装備、ロープワーク、三点確保、地図、気象、医療と盛りたくさんのメニュー

であった。

10月の机上学習で、『次回には、仕上げ山行の縦断図を書いてくる』の記載があったので、この間に一度やってみようかと思立ち、見よう見まねで半日机に座りきりで書いてみた。固くなった頭を柔軟にすることにも苦労したが、やればどうにかできるもので久しぶりに一生懸命一つのものに取り組み、自分も人並みにできた...の感慨が身体一杯に広がる。

机上学習も含めて8回の講座でしたが、他グループの人との泊をかねての和気あいあいの交流は、楽しいものでした。

この刺激が、きっかけになり、なにか見えてくるものがあればと願っています。

(記 上別祖 邦子)

11月 県連行事 自然観察会の報告

11月17日(日)

広島県緑化センターと藤が丸山登山

参加者 木村、吉岡、若木

(全体の参加者 10名)

緑化センターの清藤さんに案内してもらいながら楽しい植物の話をしていただいた。メタセコイヤとラクウショウは良く似ていて区別がつきにくい小さな葉がメタは対生、ラクは互生に出ていること。ラクウショウは気根を出すこと、など楽しい話は尽きなかった。参加者が少なく残念だったが、10時から12時までの2時間はあっという間に過ぎた。その後、昼食を食べて希望者(8名)だけで直ぐ後にある「藤が丸山」に登った。登山道は良く整備されていて大変登りやすい良い山である。

やまぼうしでも定例の山行に選んだら良いと思う。

表紙のことば

山本知子

新年おめでとうございます。

今年の干支、羊の国ニュージーランド。二年前マウントクックを眺めながらのトレッキングに、やまぼうしの仲間と出かけました。空はどこまでも青く又、湖がそれはそれは美しかったし、マウントクックリリーがまだ咲いていてその大きな花に驚きました。美しい風景を眺めながら、のんびりリフレッシュできた数日間でした。

私事ですが、終の住み処が急に決まり広島を後にしました(埼玉県蓮田市)、やまぼうしに入会して10年余り本当にお世話になりまして、有難うございました。

関東の山へお出かけの折にはぜひお声をかけてください。ご案内できるようこちらの山へ登り続けるつもりです。皆様のご健康と益々のご活躍を祈念しております。



山本知子さん永い間有難うございました。

特にこの一年間やまぼうし機関誌の表紙を飾っていただきました。

機関誌がカラーで印刷できなかったのが皆さんに絵の素晴らしさを今一つ紹介できなかったのが残念です。埼玉でもしっかり山に登ってください、そしてやまぼうしを忘れないで時にはそちらの素晴らしい山の絵などを送ってください。やまぼうし会員一同山本さんの益々のご活躍を期待しています。